

林 鶴子さんを偲んで

鈴木綾子

昨年の11月に訃報を知りました。聞けば8月28日に永眠されたとのこと。いつも穏やかな笑顔で優しく時には厳しく、マタニティヨーガの指導、普及に尽くされたお姿を思い浮かべます。助産師としてまた、マタニティヨーガの大先輩である林さんを私たちは、林先生と呼んでいました。

平成14年頃、屋島のマンションの一室で林先生がマタニティヨーガ教室を始められ、田中さんと私がお手伝いをしながら、講師の資格を取らせていただきました。その後、春日町にぽっこ助産院が開設され、その2階でマタニティヨーガ、産後の親子ヨーガ教室を開催しました。また、高松市内の産院、保育所や地域の子育て支援学級へと広め、私たちに引き継がれました。そして日本マタニティヨーガ協会の実技講師を長年務められ、全国の受講生たちからも慕われる存在でした。

高松在住のシンガーソングライターのれおんさん作曲、林先生作詞のCD『ちっちゃなママの応援歌』は妊娠中の不安を解消する「だいじょうぶ体操」、赤ちゃんとの触れ合いを楽しむ「だいすきルルちゃん」等、多くのママ達に勇気を与えました。

後年、エッセイ集『鶴子のひとりごと』を出版されました。日常生活の中での出来事を飾り気のない、ウィットに富んだ文章で書き綴り林先生の人間性が感じられました。ご主人との讃岐弁のやりとりが微笑ましく私の理想の夫婦像でもありました。

最後に本のあとがきの一節を紹介します。「小さな幸せが、沢山の幸せに膨らんで、書くことにより私が幸せに生きた証しになり、残された人達へのメッセージになるのではとの考えに至りました。」

林先生ありがとうございました。御冥福をお祈りします。 合掌



とらうべ通信

2025. 4月号 No.108

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町 1176 発行責任者：佐々木 三千代 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長挨拶

会長 佐々木 三千代

2025年に入り寒波到来で久しぶりに雪が降り厳しい寒さを感じていました。最近ですがピンクや白い小さな花が咲いてるのを見かけるようになり春を感じるようになりました。かわいい梅や桃の花が咲いています。もう少しで温かい春がやってくるのかなと心待ちにしているところです。会員の皆様には日夜母子支援にご苦労頂き、心よりお礼申し上げます。



先日、香川県立アリーナが開館しサザンオールスターズのコンサートが行われ香川が賑わい新たな歴史が刻まれました。2025年度(令和7年度)の香川県助産師会は委託事業である産後ケア事業が17市町と集合契約になります。香川県こども家庭課の方と2023年12月より集合契約についての話し合いが始まりました。産後ケア事業を行っている助産所が料金や事業内容の交渉を個々に行っていたのですが、助産師会が各助産所を代表し、また県が市町を代表し契約が行われるようになります。今まで17市町での委託料金が多少異なっていたものを、助産師のケアを時間に表し料金の交渉を行い料金が少しUPし一律になりました。利用者の申請書や報告書の様式も統一されます。利用のお母さん方がどこの助産所でも利用しやすくなります。当会としては質の担保を保証できるように日本助産師会の「産後ケア実務助産師研修」をぜひ持って事業に従事していただきたいと思います。また11月29日(土)香川大学において助産師会が香川母性衛生学会を担当します。力を合わせて取り組みたいと考えています。今年度は助産師会も新たな歴史が刻まれると感じています。今年度の総会は5月11日(日)岡田コミュニティセンターで行います。今年もよろしくお祈りします。

★災害対策委員会より 安否確認訓練報告

1月17日に今年度の安否確認訓練を実施しました。約8時間で終了し、近年では非常にスムーズに行うことができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。また、災害対策用携帯電話(070-9356-0147)やLINEへのご登録もありがとうございます。現在、安否確認はトップダウン式(会長→副会長・安全対策委員→部長→会員)で行っていますが、この方法では、上部の方が被災した場合に安否確認が滞る可能性があります。災害時には、ぜひオープンチャットなどを活用して、**ご自身で安否情報を発信**していただければと思います。ご協力をお願いいたします。

災害関連サービスとして、災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)、そして災害時などに利用できる公衆無線LANサービス「00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」もあります。災害用伝言ダイヤルは、体験利用(毎月1日・15日、正月三が日、防災週間など)が可能ですので、ぜひお試しください。

安否確認訓練詳細 会員数:122名(2025.1.17現在)

- 6:00 想定:震度6の地震が発生
9:30 災害対策本部設置(会長、副会長1名、安全対策委員)
10:00 安否確認訓練開始
18:00 安否確認訓練終了(連絡先不明者1名を除く)



☆総会のお知らせ

令和7年5月11日(日)一般社団法人香川県助産師会通常総会は午前10時から岡田コミュニティセンターで開催されます。是非会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、総会御欠席の方は同封の委任状の提出を香川県助産師会事務所までお願いします。(締切4月30日まで)

☆推薦委員より

令和7年5月11日総会において、令和7年度の役員改選を行います。推薦委員から推薦させていただいた候補者の方々です。

《候補者名》

副会長 中橋 尚子（新） 勤務部会長 川原 直美（新）

監事 城下 利香（新） 推薦委員 芳賀 枝里子（新）

副会長、勤務部会長、監事、推薦委員が交代予定です。

立候補される方は、4月30日までに推薦委員までお知らせください。

4～9月の研修会及び学会

学会名・テーマ 演題名・講師名	開催日時 場所	定員	参加費	
			会員	非会員
日本助産師会 第98回通常総会 第81回日本助産師学会 「今と未来をはぐくむ 助産師の専門性とやさしさ」	5/16（金） 一橋大学一橋講堂 5/27（土） 一橋大学一橋講堂 （東京都千代田区）	—	※詳細は日本助産師会ホームページ、学会誌にてご確認ください。	
仮）「小児科医が行う母乳育児支援と助産師に望むこと」 香川大学医学部 小児科准教授 （健康科学）小児科医 IBCLC 加藤育子	7月27日（日） 10：30～12：00 いのちの応援舎 （高松市春日町1176）	30	1000円	2500円

年間の研修会計画（案）は総会にてご提示します。

☆計画変更は「とらうべ通信」及びホームページに掲載します。

《参加の申し込み》

注意：5月11日の香川県助産師会総会で研修計画が承認されてからの申し込みとなります。

すこやか助産師センター事務所へ、電話またはFAXで申し込みをしてください。

Tel：087-844-4131 Fax：087-844-4130 電話受付時間：月から金曜日の10:00～15:45（祝祭日を除く）

研修報告

「産後ケア施設開業セミナー」に参加して

はる助産院 堤 留美



私は育児の悩みや不安を抱える方のもとへ駆けつけ、サポートがしたいと思い開業届を昨年提出いたしました。

しかし今後、お母さんやご家族が訪問型産後ケアだけに限らず、通所型産後ケア、宿泊型産後ケアを選ぶことで必要なケアを適切なタイミングで受けることができれば・・・と思っていましたが、今の私には、それを開始するにあたり必要な知識や資金、届出関係について等の疑問が山積みでした。

そんな中、2月15日に産後ケア施設開業セミナーがぼっこ助産院さんで開催されると知り、この疑問を解決すべく研修に参加させていただきました。

5施設の助産院の方々がそれぞれの助産院のコンセプト、開業までの準備や道のり、関係各所との連携・情報共有の方法についてお話してくださりました。

みなさん共通していたのは「なによりもお母さんと赤ちゃん、ご家族のために」という熱い思いをもって活動されているということが印象的でした。

近年、周産期における課題は増加傾向にありますが、香川県・各市町、そして助産院が協力しあってより良い産後ケアが提供できるように私も微力ではありますが準備を整えていきたいと思いました。



「周産期のメンタルヘルス～母子保健がめざす支援とは～」に参加して

堅田智穂



昨年12月15日、いのちの応援舎で、香川県健康福祉部こども政策推進局子ども家庭課・母子保健グループの青野美保さんにお越しいただき「周産期のメンタルヘルス～母子保健が目指す支援とは～」を演題とした研修会が開催されました。

はじめに、母子保健行政・母子保健統計の動向のお話をいただきました。外国人妊産婦への支援、出生数・出生率、母の年齢別出生割合からの課題、人工妊娠中絶実施率、小中高生の自殺数、妊産婦の自殺、保育所等の待機児童からの課題、児童虐待の現状など、様々な社会情勢についてお話いただきました。

次に、周産期メンタルヘルスの多くの事例から、その支援や振り返り・課題を紹介していただきました。助産師として働いていると、遭遇する事例と感じました。

私は病院勤務を経て、現在は母子特化型訪問看護ステーションでたくさんの母子やご家庭と関わらせていただいています。この研修を受け、母子に関わる社会情勢を深く学ぶことができました。こういった背景を踏まえ、今まで以上に母子やご家族に寄り添えるよう研鑽を積み、地域や多職種との連携も大切にしていきたいと思います。貴重な研修をありがとうございました。